

漁港・漁場・海岸の施設の設計にかかる相談事例

分類項目	漂砂（シルテーション）
相談タイトル	1級河川の河口に属する漁港の泊地埋没対策について
相談者	熊本県玉名市
相談内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に本件について相談し、港内泊地の堆積物は砂粒分でなくシルトが主なため、水産庁の埋没対策ガイドラインは利用できないことがわかった。有明海特有の干満差によって浮遊しているシルトが潮流により港内に堆積しているとして、潮流シミュレーションを主とした現況解析の手法を教示いただいた。今回の相談は、現況解析を終え対策案を数案提示し、中でも有力案について対策シミュレーションを行う前に、現況解析の妥当性及び対策案について教示して欲しい。
相談会の結果（R02.7.30）	<p>以下のアドバイスを行った。（事前照会・回答分も含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港内埋没の数値計算は、シルトの巻き上げ、沈降、輸送過程や、河川からの土砂供給量等に様々な仮定・条件を設けざるを得ないため、現象の再現性に留意すること。 ・いずれの対策工をとったとしても今後の浚渫が避けられないことを念頭において欲しい。重機の入りやすさ等の維持管理も考慮し、対策工事業費を含め長期的なLCCを算定して総合的に検討すべき。 ・近隣漁港や港湾での対策工の効果実績を整理し、効果のある方法を模倣する観点もあったほうがよい。 ・対策案の絞り込みにあたっては、漁船の利用、静穏度や流れの影響、河川区域にかかる構造物の扱い、河川出水時に菅の閉塞や港内での新たな堆積、干潮時の滞筋の位置、航路の維持などに留意すべきである。
相談会後の検討状況	<p>持ち帰って検討し、結果について報告する。必要があれば再度相談する。</p>